

新春特別セミナー

テーマ：九州と東アジア地域とのビジネス連携新時代

開催日：平成30年3月15日(木)

開催場所：北九州国際会議場 国際会議室

2018年3月15日午後、北九州市立大学中華ビジネス研究センター主催、北九州商工会議所共催の新春特別セミナーが北九州国際会議場で行われ成功裏に終わった。交流関係に有る香港中文大学、中国人民大学(並びに中央民族大学)、中山大学、シンガポール南洋理工大学、マカオ大学、山東大学と地元産業界の協力(参加)を得て、北部九州産業界向けに今年度の共同調査研究成果の一部をライブトーク形式で公表することができた。統一テーマは「九州と東アジア地域とのビジネス連携新時代」とし、中央民族大学長兼中国人民大学民営企業研究センター長の黄泰岩先生の「“一帯一路”構想が日中ビジネス協力に及ぼす影響」と題する基調講演を踏まえて、セッション1「東アジア系企業の成長」と、セッション2「地域間ビジネス連携のスキーム作り」に分けて専門家の8人による知見発表とパネルディスカッションを行った。

2018年は明治維新150周年という記念すべき時節でもあり、東アジアと強い結びつきを有し、維新の先導役を果たした九州の地で私達が担うべきことを再考する良いきっかけとなった。パネリストの皆さんが本センターのセミナー企画の主旨に賛意と理解を示し、積極的に交流スキームに関する貴重な提言を行った。

主催者代表挨拶：北九州市立大学 松尾 太加志 学長



基調講演：「“一帯一路”構想が日中ビジネス協力に及ぼす影響」

講師：中央民族大学学長、中国人民大学中国民营企业研究中心長 黄 泰岩 氏



パネルディスカッション1：「東アジア系企業の成長」

パネリスト： 劉 宏 国立南洋理工大学(シンガポール)人文社会科学学院長、
南洋公共管理研究院院長

朱 沆 中山大学(中国)管理学院教授

楊 蕙馨 山東大学(中国)管理学院長、
山東大学産業組織・企業組織研究所長

黄 泰岩 中央民族大学学長、中国人民大学中国民营企业研究中心長

モデレータ： 王 効平 北九州市立大学ビジネススクール教授、
同中華ビジネス研究センター長



パネルディスカッション 2 : 「地域間ビジネス連携のスキーム作り」

パネリスト: 牧野 成史 香港中文大学工商管理学院教授、
同大学国際ビジネス研究センター所長
戴 志言 中華経済研究院(台湾)国際経済研究所副研究員
古田 茂美 マカオ大学管理学院客員教授、ヤマト運輸アドバイザー
田端 弘道 TOTO 株式会社顧問、北九州市立大学ビジネススクール特任教授
モデレータ: 前田 知 北九州市立大学ビジネススクール特任教授、
大忠貿易有限会社代表取締役



会場からの質疑応答



質問に回答する パネリスト



パネリスト及びモデレータ

